

(参考資料)

平成19年2月19日

博報堂DYグループ・i-ビジネスセンター

博報堂DYグループ、携帯電話向けソリューションパッケージ 「モバマックス（MOBAMAX）」を開発

博報堂DYグループ・i-ビジネスセンター（※1）は、携帯電話におけるソリューションパッケージ「モバマックス（MOBAMAX）」を開発し、クライアント各社への販売を開始いたしましたのでお知らせします。

（開発の背景）

近年の携帯電話は、日本国内において既に約9500万ユーザー（※2）を有する「マス・パーソナル・メディア」として生活者に深く浸透しています。そして、携帯電話の使用シーンも通話やメールなどのコミュニケーションに留まらず、お財布や外出時の道案内としてなど様々な生活サポートの役割を高めています。このような環境のもと、クライアント企業が生活者に向けて行う広告・プロモーション・CRMなどの一連の活動においても、携帯電話を生活者とのタッチポイントとして有効に活用することが必須であり、広告会社に対する期待も高まってきています。このような背景から、博報堂DYグループは「モバマックス」を開発いたしました。

（「モバマックス」の特徴）

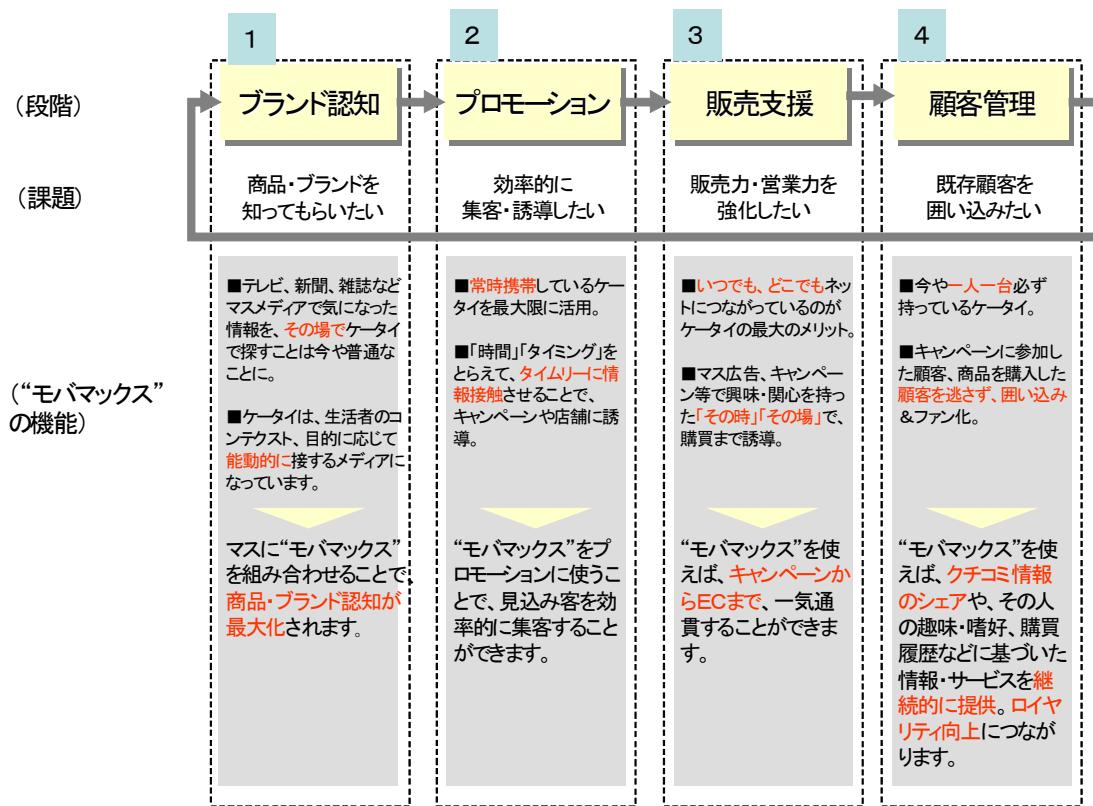
「モバマックス」は、クライアント企業の「広告」「販売促進」「顧客管理」といった一連の活動を一貫して携帯電話で支援するソリューションパッケージです。具体的には、生活者の購買行動を「ブランド認知」「プロモーション」「e-コマース」「CRM」の4つの時系列のフェーズに分け、あらゆるタッチポイントで常に生活者と共にある携帯電話によってターゲットにダイレクトに働きかける施策群をパッケージ化したものです。それぞれのフェーズにおける最適な施策を一連のものとして立案・実施・運営していくことで、さらなる相乗効果を生むことが期待できます。今回の「モバマックス」の開発・商品化により、携帯電話を用いた生活者の購買行動の各フェーズに対応してワンストップでクライアント企業にサービスを提供することが可能となりました。

また、新聞・雑誌・テレビなどの既存マス媒体とのクロスマディア戦略にも活用できる構造となっています。

博報堂DYグループは、博報堂、大広、読売広告社の事業会社がクライアントのインターフェイスとなり、博報堂DYメディアパートナーズとi-ビジネスセンターが協働することによって、独自のソリューションパッケージとして「モバマックス」をクライアント企業に提供してまいります。

「モバマックス（MOBAMAX）」機能の概要

“モバマックス”の機能 MOBAMAX



(※1)：「博報堂DYグループ・iビジネスセンター」とは、博報堂DYグループの事業会社4社（博報堂DYメディアパートナーズ、博報堂、大広、読売広告社）が2006年2月に共同で設置した、デジタルメディア環境における次世代コミュニケーション開発をグループ横断で推進するための組織です。

(※2)：平成19年1月末現在の携帯電話契約件数 約9500万件
<（社）電気通信事業者協会調べ>

以上

本件に関するお問い合わせ